

平成28年度下期 新潟市景況調査【概要版】

調査結果の総括

新潟市内事業所の「業況判断」について、平成28年7～9月期は同4～6月期から改善した。続く28年10～12月期は同7～9月期からさらに改善した。足元の29年1～3月期は28年10～12月期から悪化する見込みとなっているが、先行きの同4～6月期は再び改善する見通しとなっている。

今期における他の主要項目のBSIをみると、「生産・売上」、「受注」、「出荷量」は上昇した。「資金繰り」は改善し、「製・商品在庫」は過剰超幅が縮小した。また、価格では「仕入価格」と「販売価格」がともに上昇した。雇用では「所定外労働時間」はほぼ同水準で推移したが、「一人当たり人件費」は上昇した。

経営上の問題については、「人材不足」の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」、「競争の激化」、「労働力不足」と続いている。

業界の動向としては、新たな事業への取り組みや販路開拓による取引先の増加などから、業況が改善したとの声がある一方、競争激化による受注環境の悪化、原材料等の仕入価格上昇、人手不足や人件費の高止まりによって、業況悪化を懸念する声が多数みられた。

1. 調査の概要	1
2. 回収結果	1
3. 調査結果	
(1) 景況天気図	2
(2) 業況判断	3
(3) 生産・売上, (4) 受注	4
(5) 出荷, (6) 資金繰り	5
(7) 在庫	6
(8) 価格	7
(9) 雇用	8
(10) 設備投資	9
(11) 経営上の問題	10
(12) 調査結果の業種別総括表	11
(13) 事業所, 業界の動向	13

※注 文中において、「前期」「今期」「来期」については、特に説明がない限り、以下の時期である。

・ 前期 H28.1～H28.6月期 ・ 今期 H28.7～H28.12月期 ・ 来期 H29.1～H29.6月期

1. 調査の概要

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：新潟市内の事業所（個人事業主を含む）
- (3) 標本数：2,000事業所
- (4) 抽出方法：総務省「事業所母集団データベース」から業種別・従業者規模別に無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付，回収とも）
- (6) 調査期間：平成29年1月10日～1月25日

[業種別・従業者規模別標本数]

	従業者規模区分			計
	1～4人	5～19人	20人以上	
	標本数	標本数	標本数	標本数
製造業	111	111	111	333
非製造業	557	555	555	1,667
建設業	111	111	111	333
運輸・通信業	111	111	111	333
卸・小売業	112	111	111	334
飲食・宿泊業	111	111	111	333
サービス業	112	111	111	334
計	668	666	666	2,000

2. 回収結果

	標本数	有効回収数	従業者規模区分			回収率
			1～4人	5～19人	20人以上	
総数	2,000	1,152	350	353	449	57.6%
製造業	333	237	83	73	81	71.2%
非製造業	1,667	915	267	280	368	54.9%
建設業	333	219	60	74	85	65.8%
運輸・通信業	333	141	38	41	62	42.3%
卸・小売業	334	176	40	53	83	52.7%
飲食・宿泊業	333	127	52	31	44	38.1%
サービス業	334	252	77	81	94	75.4%

【集計・分析にあたって】

- (1) 数値(%)は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計は必ずしも一致しない。
- (2) BSI (Business Survey Index) は、総回答数に対する「良い・増加・過剰・上昇・好転」，「不変・適正」，「悪い・減少・不足・低下・悪化」の率(%)を求め、下記計算により算出した。
BSIがマイナスになる場合は「▲」または「-」と表記している。





BSI=「良い・増加・過剰・上昇・好転」割合(%)－「悪い・減少・不足・低下・悪化」割合(%)

- (3) 27年度下期調査から、下記の調査項目について調査対象期間を変更している。
調査項目：「生産・売上」，「受注」，「出荷量」，「資金繰り」，「製・商品在庫」，
「原材料在庫」，「仕入価格」，「販売価格」，「所定外労働時間」，
「一人当たり人件費」
調査対象期間：（変更前） ○○年4月～9月， ○○年10月～XX年3月 [年度]
（変更後） ○○年1月～6月， ○○年7月～○○年12月 [暦年]













3. 調査結果

(1) 景況天気図





























【業況判断(全体)】

	H28年7～9月期(実績)	H28年10～12月期(実績)	H29年1～3月期(見込み)	H29年4～6月期(見通し)
全体				
BSI	(▲23.9)	(▲22.3)	(▲28.3)	(▲23.8)

【従業者規模別】







	H28年7～9月期(実績)	H28年10～12月期(実績)	H29年1～3月期(見込み)	H29年4～6月期(見通し)
4人以下				
BSI	(▲37.7)	(▲35.4)	(▲34.9)	(▲27.2)
5人～19人				
BSI	(▲25.0)	(▲24.4)	(▲29.8)	(▲24.4)
20人以上				
BSI	(▲12.3)	(▲10.5)	(▲22.0)	(▲20.7)

【業種別】

	H28年7～9月期(実績)	H28年10～12月期(実績)	H29年1～3月期(見込み)	H29年4～6月期(見通し)
製造業計				
BSI	(▲27.0)	(▲27.4)	(▲25.3)	(▲22.0)
非製造業計				
BSI	(▲23.1)	(▲20.9)	(▲29.1)	(▲24.3)
建設業				
BSI	(▲19.7)	(▲15.5)	(▲30.2)	(▲31.1)
運輸・通信業				
BSI	(▲19.1)	(▲18.5)	(▲29.0)	(▲18.4)
卸・小売業				
BSI	(▲31.3)	(▲33.5)	(▲35.2)	(▲27.8)
飲食・宿泊業				
BSI	(▲29.2)	(▲29.2)	(▲29.9)	(▲20.5)
サービス業				
BSI	(▲19.5)	(▲14.3)	(▲23.5)	(▲21.0)

※ 各期のBSIが前期と比べて10ポイント以上の差が生じた場合には、矢印を表記している。

【凡例】

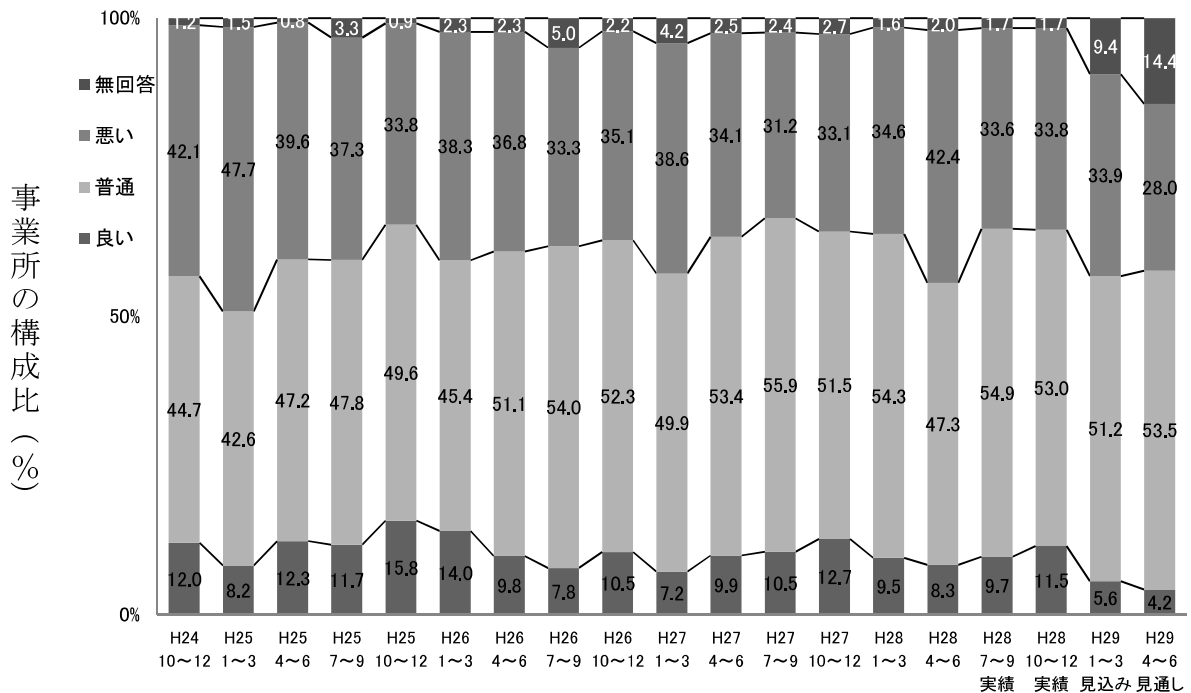
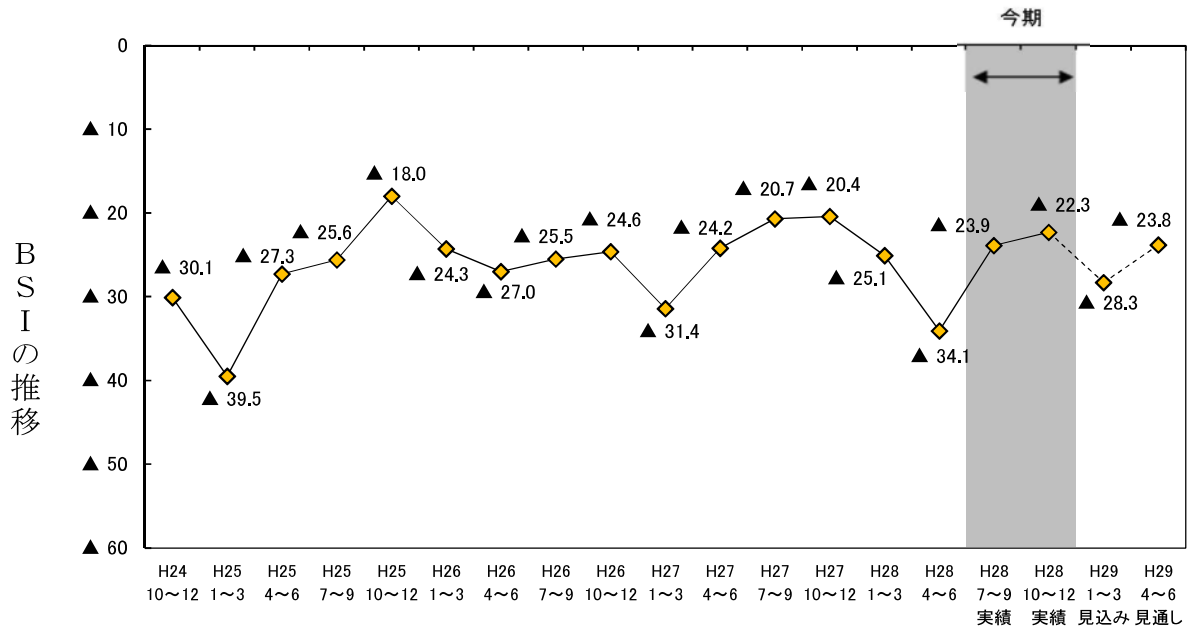
天気マーク						
BSI水準	(30.1～)	(10.1～30.0)	(▲10.0～10.0)	(▲10.1～▲30.0)	(▲30.1～▲50.0)	(▲50.1～)

(2) 業況判断

ポイント

- 28年7～9月期の業況感を示した業況BSI（「良い」－「悪い」）は▲23.9と、28年4～6月期の▲34.1から10.2ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲22.3と、同7～9月期からさらに1.6ポイント改善した。
- 足元の29年1～3月期は▲28.3となり、28年10～12月期から6.0ポイント悪化する見込みである。
- 先行きについてみると、29年4～6月期は▲23.8と、同1～3月期から4.5ポイント改善する見通しとなっている。

図1 業況判断BSI

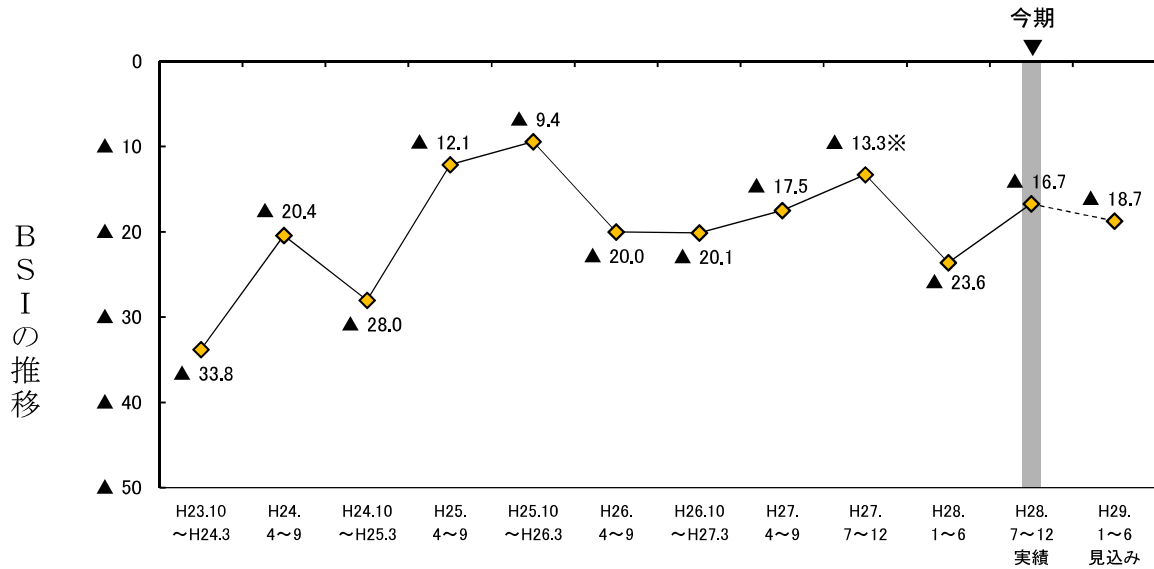


(3)生産・売上

ポイント

- ・ 今期の生産・売上BSI(「増加」－「減少」)は▲16.7と、前期(▲23.6)から6.9ポイント上昇した。来期は▲18.7と、今期から2.0ポイント低下する見込みとなっている。

図2 生産・売上BSI



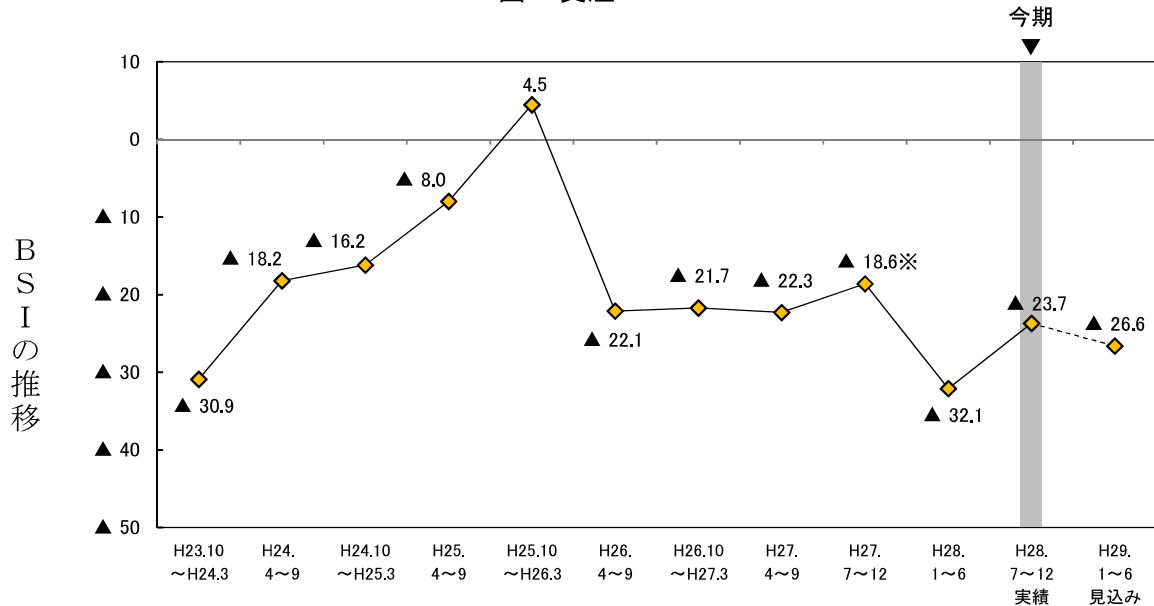
※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

(4)受注(製造業・建設業のみ)

ポイント

- ・ 今期の受注BSI(「増加」－「減少」)は▲23.7と、前期(▲32.1)から8.4ポイント上昇した。来期は▲26.6と、今期から2.9ポイント低下する見込みとなっている。

図3 受注BSI



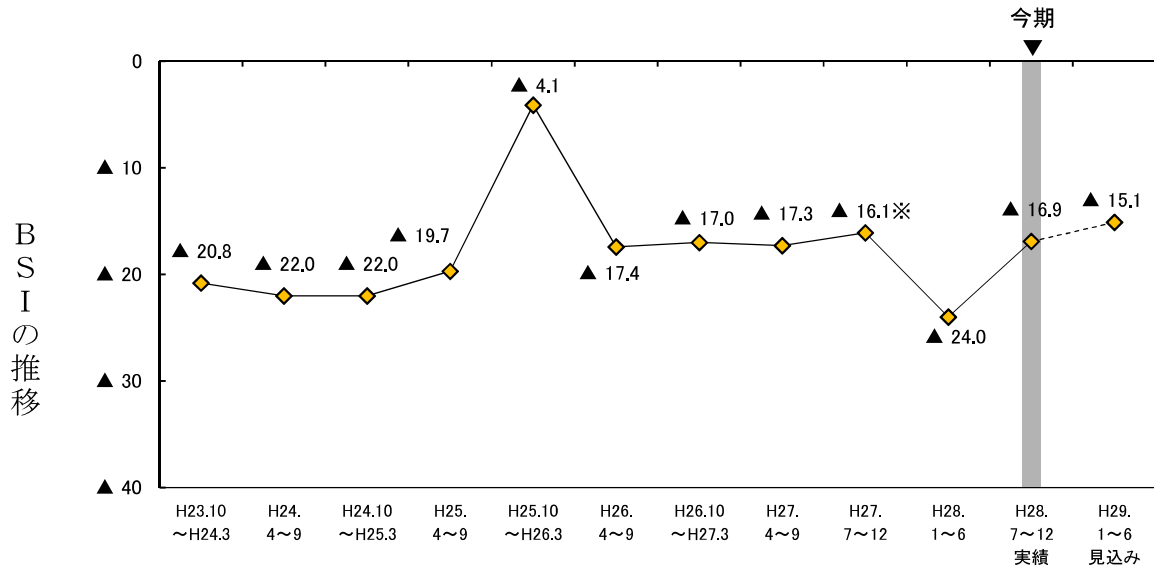
※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

(5) 出荷(製造業のみ)

ポイント

- ・ 今期の出荷量BSI(「増加」－「減少」)は▲16.9と、前期(▲24.0)から7.1ポイント上昇した。来期は▲15.1と、今期からさらに1.8ポイント上昇する見込みとなっている。

図4 出荷量BSI



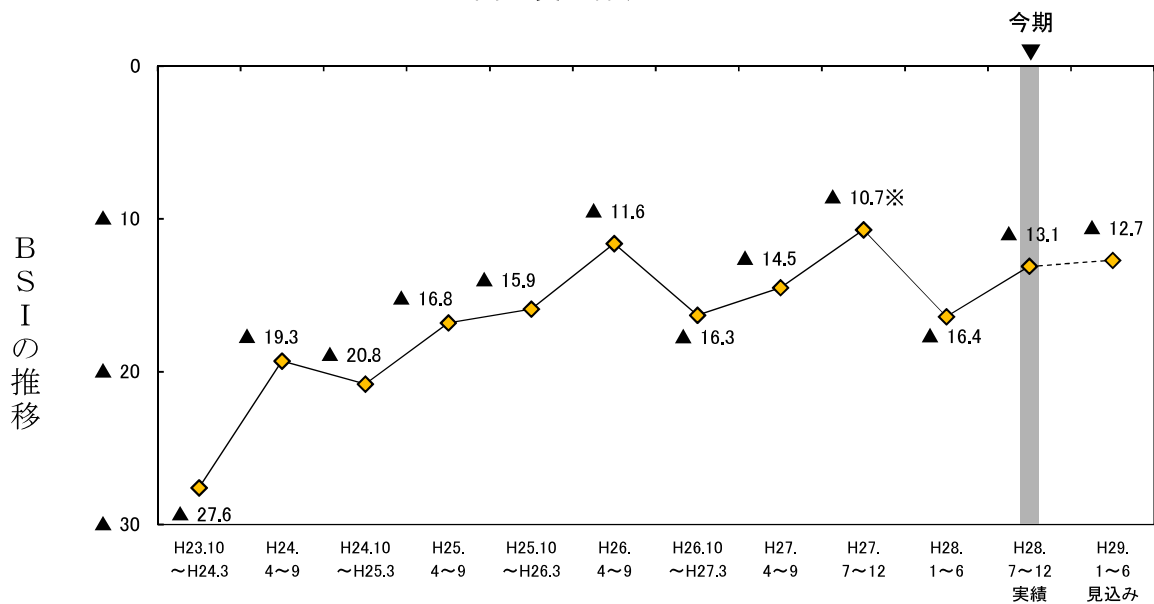
※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

(6) 資金繰り

ポイント

- ・ 今期の資金繰りBSI(「好転」－「悪化」)は▲13.1と、前期(▲16.4)から3.3ポイント改善した。来期は▲12.7と、今期とほぼ同水準で推移する見込みとなっている。

図5 資金繰りBSI



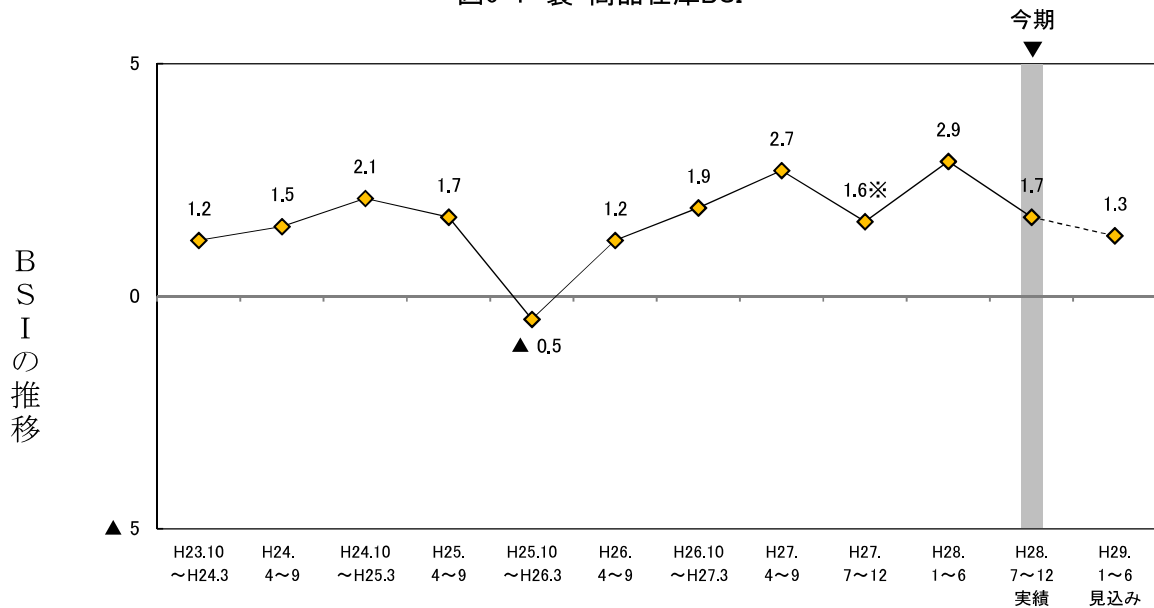
※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

(7)在庫(原材料在庫は製造業のみ)

ポイント

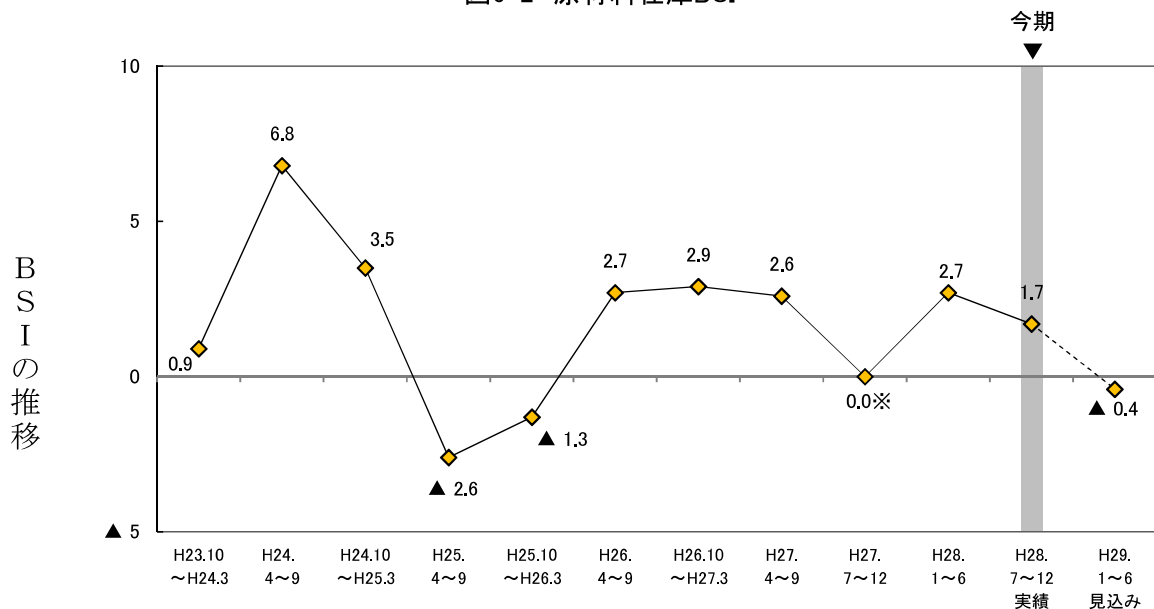
- ・ 今期の製・商品在庫BSI(「過剰」－「不足」)は1.7と、前期(2.9)から1.2ポイント過剰超幅が縮小した。来期については1.3と、在庫の適正化がさらに進む見込みとなっている。
- ・ 今期の原材料在庫BSI(「過剰」－「不足」)は1.7と、前期(2.7)とほぼ同水準で推移した。来期は▲0.4と、今期から2.1ポイント低下し、不足超に転じる見込みとなっている。

図6-1 製・商品在庫BSI



※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

図6-2 原材料在庫BSI



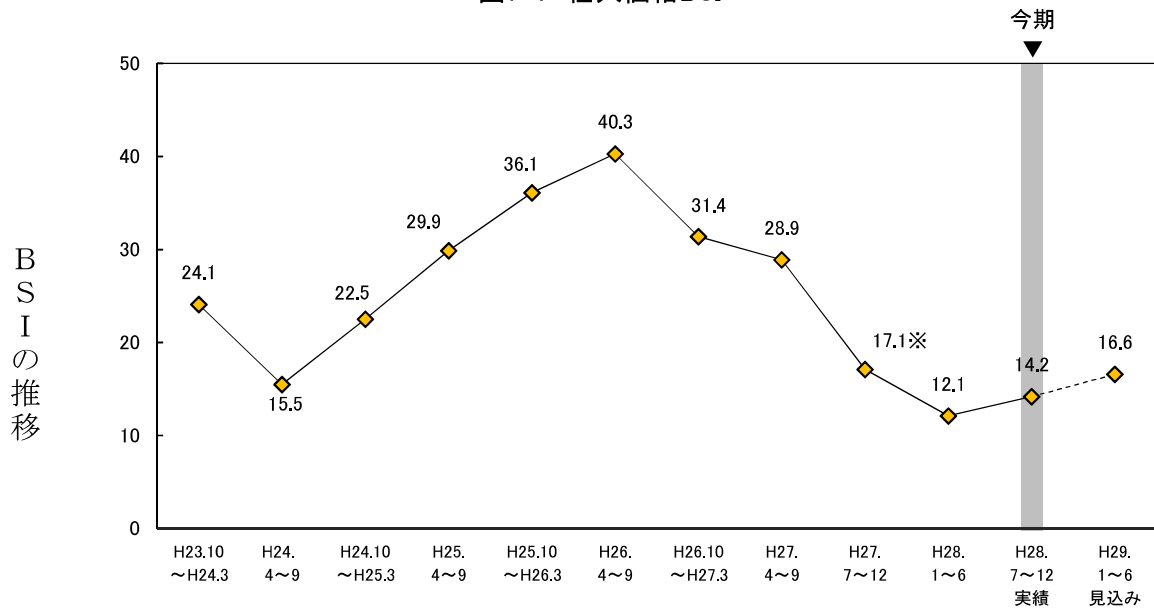
※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

(8) 価格

ポイント

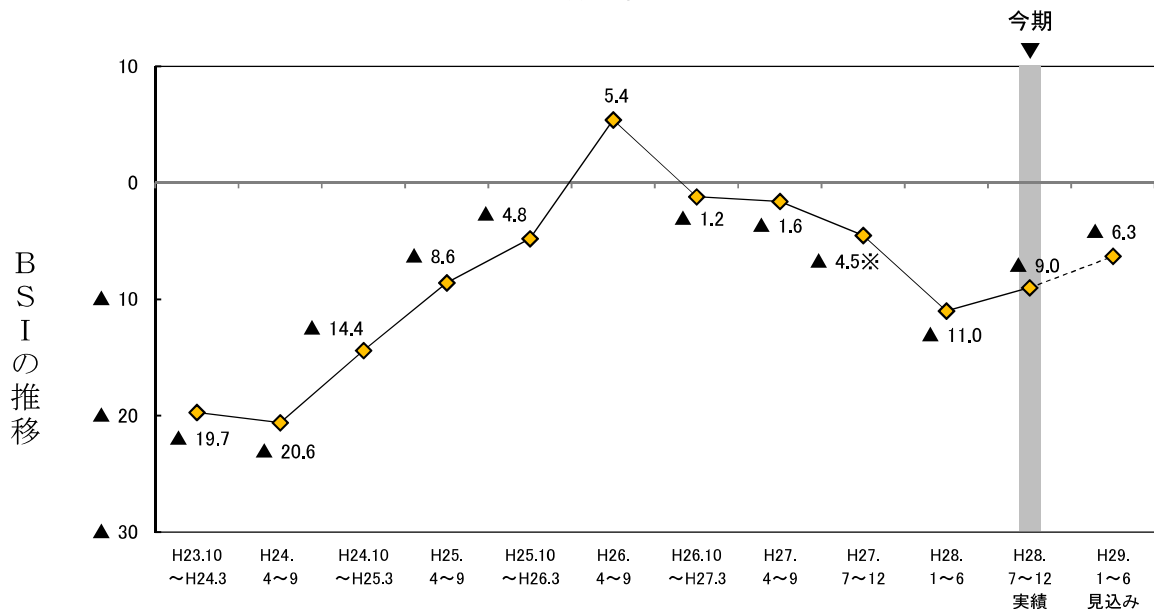
- ・ 今期の仕入価格BSI(「上昇」－「低下」)は14.2と、前期(12.1)から2.1ポイント上昇した。来期については16.6と、今期からさらに2.4ポイント上昇する見込みとなっている。
- ・ 今期の販売価格BSI(「上昇」－「低下」)は▲9.0と、前期(▲11.0)から2.0ポイント上昇した。来期は▲6.3と、今期からさらに2.7ポイント上昇する見込みとなっている。

図7-1 仕入価格BSI



※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

図7-2 販売価格BSI



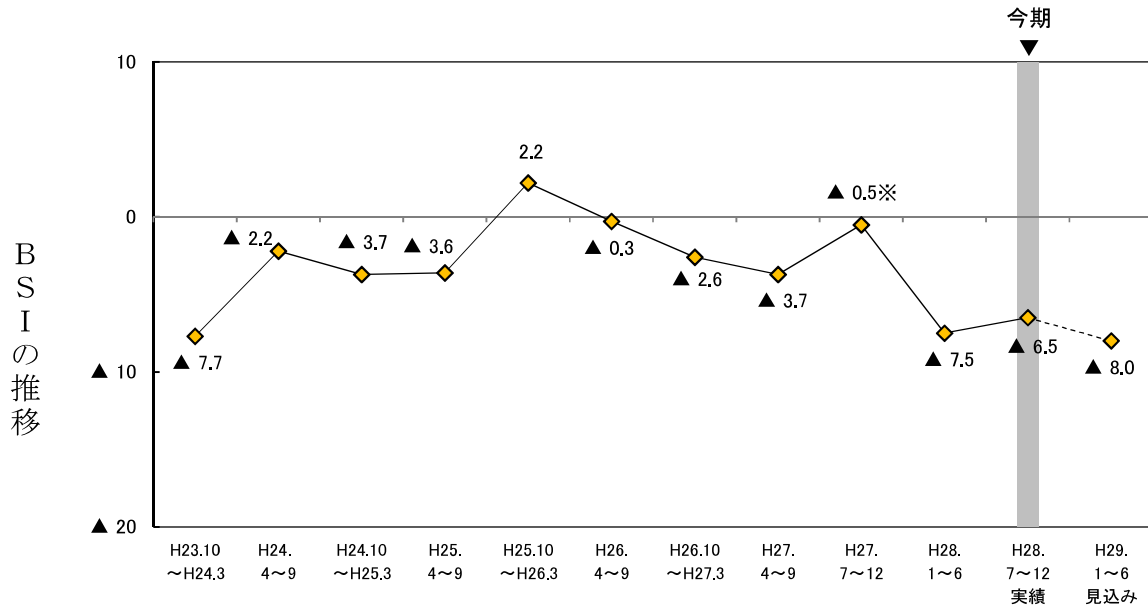
※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

(9)雇用

ポイント

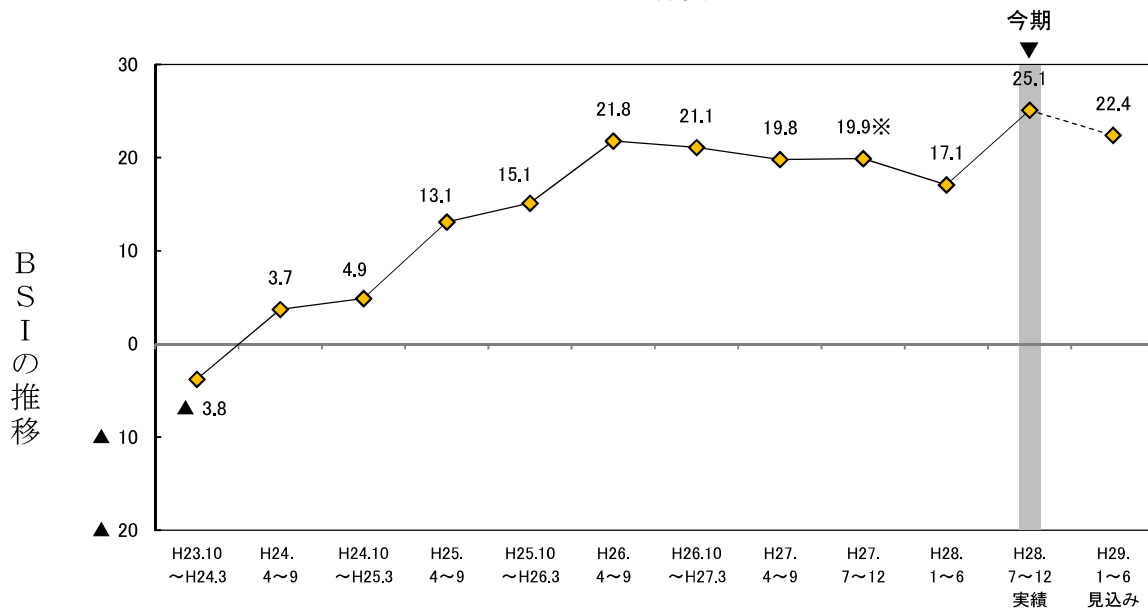
- ・ 今期の所定外労働時間BSI(「増加」－「減少」)は▲6.5と、前期(▲7.5)とほぼ同水準で推移した。来期は▲8.0と、今期から1.5ポイント低下する見込みになっている。
- ・ 今期の1人当たり人件費BSI(「増加」－「減少」)は25.1と、前期(17.1)から8.0ポイント上昇した。来期は22.4と、今期より2.7ポイント低下する見込みとなっている。

図8-1 所定外労働時間BSI



※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

図8-2 一人当たり人件費BSI



※27年度下期調査から調査対象期間を変更している。

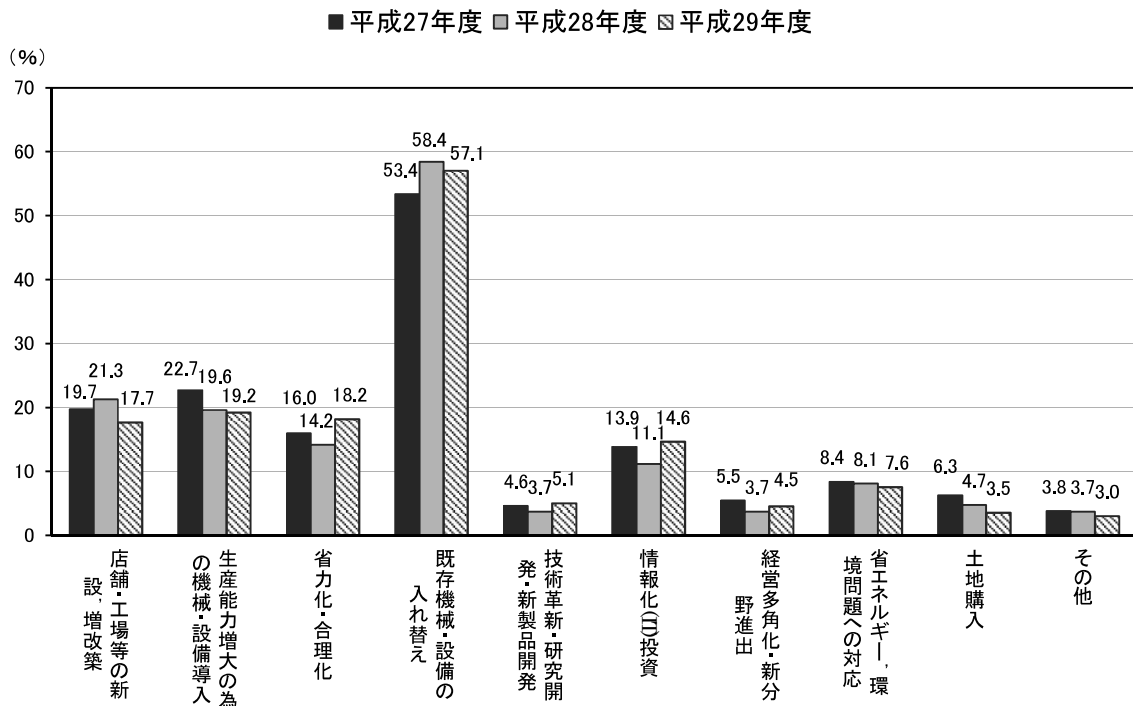
(10)設備投資

ポイント	
・	28年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は29.3%と、27年度より5.4ポイント上昇する見込みとなっている。29年度は20.2%と、28年度から9.1ポイント低下する見通しとなっている。
・	28年度の設備投資目的としては、「既存機械・設備の入れ替え」が58.4%と、最も高くなっている。

表9 設備投資の実施事業所割合と設備投資額の前年度比増減率

	設備投資の実施事業所割合			設備投資額の前年度比増減	
	平成27年度 実績	平成28年度 実績見込み	平成29年度 計画	28年度/27年度	29年度/28年度
全体	23.9%	29.3%	20.2%	▲ 20.0%	▲ 45.2%
【従業者規模別】					
4人以下	6.0%	9.7%	2.9%	81.4%	▲ 69.1%
5人～19人	18.7%	25.6%	14.1%	168.4%	▲ 66.2%
20人以上	39.2%	44.6%	34.9%	▲ 27.4%	▲ 42.1%
【業種別】					
製造業計	29.3%	35.6%	27.7%	1.6%	▲ 53.6%
非製造業計	22.4%	27.6%	18.1%	▲ 39.7%	▲ 32.3%
建設業	22.0%	26.2%	14.2%	▲ 20.9%	▲ 50.1%
運輸・通信業	30.2%	38.1%	34.5%	17.6%	6.1%
卸・小売業	25.0%	25.0%	16.7%	▲ 61.9%	▲ 63.8%
飲食・宿泊業	14.0%	23.0%	11.4%	3.8%	32.8%
サービス業	20.8%	27.1%	16.7%	▲ 48.3%	▲ 29.4%

図9 設備投資の目的(複数回答)

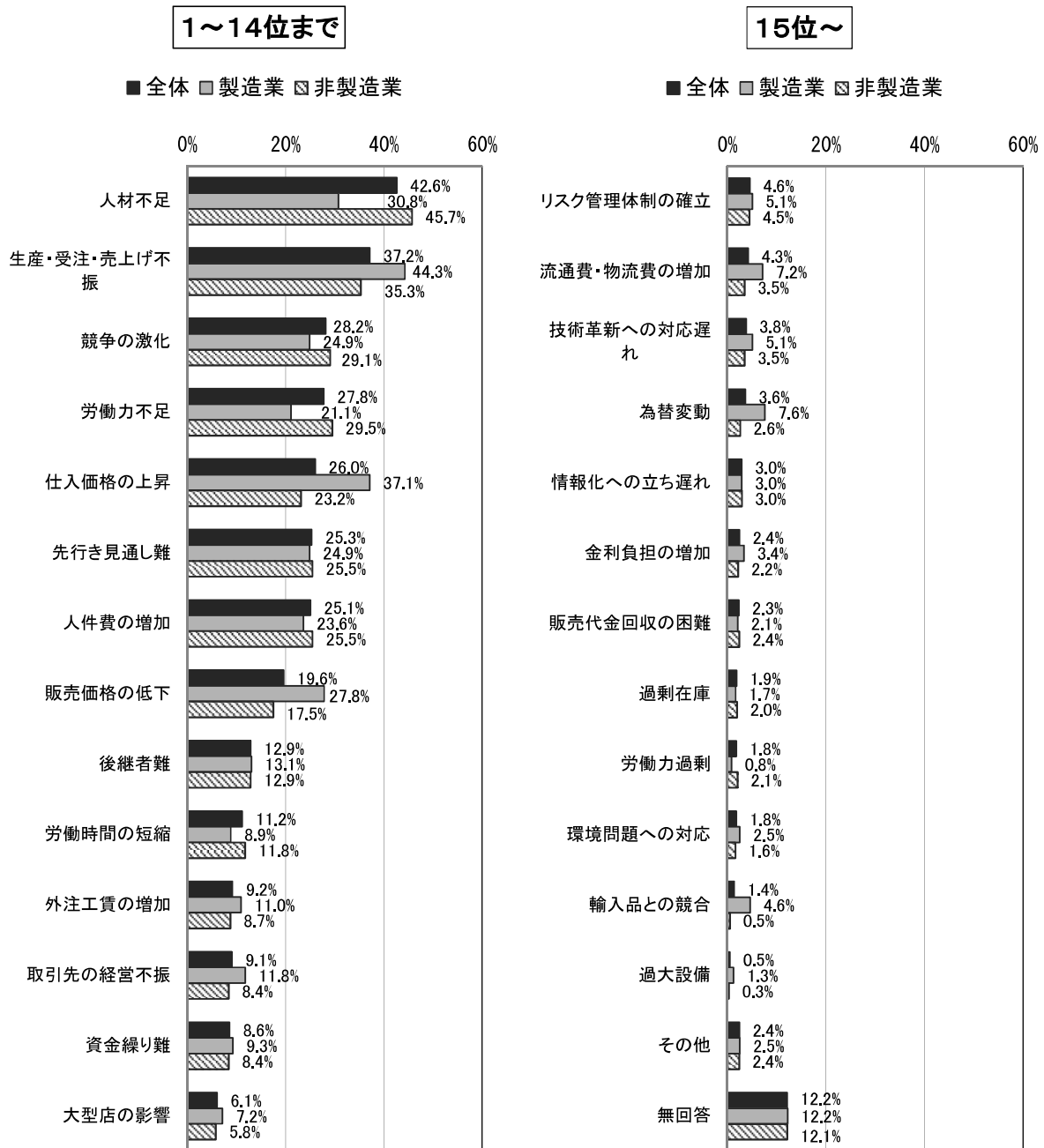


(11) 経営上の問題

ポイント

- 経営上の問題については（複数回答）、「人材不足」（42.6%）の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」（37.2%）、「競争の激化」（28.2%）、「労働力不足」（27.8%）と続いている。
- 業種別にみると、製造業では「生産・受注・売上げ不振」（44.3%）の割合が最も高く、以下「仕入価格の上昇」（37.1%）、「人材不足」（30.8%）の順となった。
- 非製造業では「人材不足」（45.7%）の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」（35.3%）、「労働力不足」（29.5%）となった。

図10 経営上の問題(複数回答)



(12) 調査結果(BSI)の業種別総括表

<p>製造業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年7～9月期の業況判断BSIは▲27.0と、同4～6月期(▲31.2)から4.2ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲27.4と、同7～9月期とほぼ同水準で推移したが、足元の29年1～3月期は▲25.3と、2.1ポイント改善する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲22.0と、さらに改善する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲19.9と、前期(▲25.3)から5.4ポイント上昇した。来期は▲15.6と、さらに上昇する見込みとなっている。 ・ 今期の受注BSIは▲19.0と、前期(▲22.6)から3.6ポイント上昇した。来期は▲16.5と、さらに上昇する見込みとなっている。 ・ 今期の製・商品在庫BSIは0.4と、前期(3.2)から2.8ポイント低下し、適正化が進んだ。来期は0.9と、今期とほぼ同水準で推移する見込みとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは12.7と、前期(13.1)とほぼ同水準で推移した。一方、今期の販売価格BSIは▲12.6と、前期(▲19.0)から6.4ポイント上昇した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲13.9と、前期(▲15.9)から2.0ポイント改善した。来期は▲14.4と、ほぼ同水準で推移する見込みである。 ・ 28年度における設備投資の実施事業所割合は35.6%と、前年度(29.3%)から上昇する見込みである。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「生産・受注・売上げ不振」(44.3%)の割合が最も高く、以下「仕入価格の上昇」(37.1%)、「人材不足」(30.8%)、と続いている。
<p>非製造業 計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年7～9月期の業況判断BSIは▲23.1と、同4～6月期(▲34.8)から11.7ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲20.9と、さらに2.2ポイント改善したが、足元の29年1～3月期は▲29.1と、28年10～12月期から8.2ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲24.3と、再び改善する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲15.9と、前期(▲23.2)から7.3ポイント上昇した。来期は▲19.6と、低下する見込みとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは14.6と、前期(11.9)から2.7ポイント上昇した。また、今期の販売価格BSIは▲8.0と、前期(▲9.1)から1.1ポイント上昇した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲12.9と、前期(▲16.5)から3.6ポイント改善した。来期は▲12.3と、ほぼ同水準で推移する見込みである。 ・ 28年度における設備投資の実施事業所割合は27.6%と、前年度(22.4%)から上昇する見込みである。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(45.7%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(35.3%)、「労働力不足」(29.5%)と続いている。
<p>建設業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年7～9月期の業況判断BSIは▲19.7と、同4～6月期(▲39.5)から19.8ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲15.5と、さらに4.2ポイント改善したが、足元の29年1～3月期は▲30.2と、28年10～12月期から14.7ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲31.1と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲21.0と、前期(▲33.9)から12.9ポイント上昇した。来期は▲26.1と、低下する見込みとなっている。 ・ 今期の受注BSIは▲28.7と、前期(▲41.9)から13.2ポイント上昇した。来期は▲37.5と、低下する見込みとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは9.6と、前期(10.2)とほぼ同水準で推移した。一方、今期の販売価格BSIは▲16.4と、前期(▲17.7)から1.3ポイント上昇した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲13.2と、前期(▲25.1)から11.9ポイント改善した。来期は▲17.8と、悪化する見込みである。 ・ 28年度における設備投資の実施事業所割合は26.2%と、前年度(22.0%)から上昇する見込みである。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(49.8%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(47.0%)、「労働力不足」(40.2%)と続いている。

非製造業	運輸・通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年7～9月期の業況判断BSIは▲19.1と、同4～6月期(▲28.7)から9.6ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲18.5と、ほぼ同水準で推移したが、足元の29年1～3月期は▲29.0と、28年10～12月期から10.5ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲18.4と、再び改善する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲7.8と、前期(▲18.9)から11.1ポイント上昇した。来期は▲9.9と、低下する見込みとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは4.9と、前期(2.8)から2.1ポイント上昇した。一方、今期の販売価格BSIは▲4.2と、前期(▲2.8)から1.4ポイント低下した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲3.5と、前期(▲5.6)から2.1ポイント改善した。来期は▲2.1と、さらに改善する見込みである。 ・ 28年度における設備投資の実施事業所割合は38.1%と、前年度(30.2%)から上昇する見込みである。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(53.2%)の割合が最も高く、以下「労働力不足」(37.6%)、「生産・受注・売上げ不振」(30.5%)と続いている。
	卸・小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年7～9月期の業況判断BSIは▲31.3と、同4～6月期(▲44.4)から13.1ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲33.5と、同7～9月期から2.2ポイント悪化し、足元の29年1～3月期は▲35.2とさらに1.7ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲27.8と、再び改善する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲22.7と、前期(▲30.3)から7.6ポイント上昇した。来期は▲24.5と、低下する見込みとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは17.0と、前期(7.4)から9.6ポイント上昇した。また、今期の販売価格BSIは▲9.1と、前期(▲13.0)から3.9ポイント上昇した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲15.9と、前期(▲13.0)から2.9ポイント悪化した。来期は▲14.8と、やや改善する見込みである。 ・ 28年度における設備投資の実施事業所割合は25.0%と、前年度(25.0%)と同水準になる見込みである。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(47.2%)の割合が最も高く、以下「競争の激化」(40.3%)、「生産・受注・売上げ不振」(39.8%)と続いている。
	飲食・宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年7～9月期の業況判断BSIは▲29.2と、同4～6月期(▲44.2)から15.0ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲29.2と、同7～9月期から横ばいで推移し、足元の29年1～3月期も▲29.9とほぼ同水準で推移する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲20.5と、改善する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲15.0と、前期(▲17.5)から2.5ポイント上昇した。来期は▲21.2と、低下する見込みとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは44.9と、前期(42.5)から2.4ポイント上昇した。一方、今期の販売価格BSIは▲3.9と、前期(▲0.8)から3.1ポイント低下した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲19.7と、前期(▲25.8)から6.1ポイント改善した。来期は▲14.9と、さらに改善する見込みである。 ・ 28年度における設備投資の実施事業所割合は23.0%と、前年度(14.0%)から上昇する見込みである。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「仕入価格の上昇」(55.1%)の割合が最も高く、以下「人材不足」(40.9%)、「生産・受注・売上げ不振」(32.3%)と続いている。
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年7～9月期の業況判断BSIは▲19.5と、同4～6月期(▲23.6)から4.1ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲14.3と、さらに5.2ポイント改善したが、足元の29年1～3月期は▲23.5と、28年10～12月期から9.2ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲21.0と、再び改善する見通しとなっている。 ・ 今期の生産・売上BSIは▲11.5と、前期(▲14.4)から2.9ポイント上昇した。来期は▲15.0と、低下する見込みとなっている。 ・ 今期の仕入価格BSIは7.6と、前期(6.8)とほぼ同水準で推移した。一方、今期の販売価格BSIは▲4.4と、前期(▲6.8)から2.8ポイント上昇した。 ・ 今期の資金繰りBSIは▲12.3と、前期(▲13.2)とほぼ同水準で推移した。来期は▲9.9と、改善する見込みである。 ・ 28年度における設備投資の実施事業所割合は27.1%と、前年度(20.8%)から上昇する見込みである。 ・ 経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(39.3%)の割合が最も高く、以下「人件費の増加」(31.0%)、「競争の激化」(29.8%)と続いている。

(13) 事業所、業界の動向

1. 製造業
<食料品・飲料>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年度は季節毎に提供した新メニューがお客様からの高い評価に繋がり、売上高は前年度3%と堅調に推移している。(弁当製造) ・ 昨年2月に実施した店内改装や新たにネット予約の取扱いを開始したことなどから、売上高は増加傾向にある。(焼肉専門店) ・ 昨今のクラフトビールブームにより売上は好調に推移している。業界の動向としては、ビール酒税が減税となる見通しであることから堅調維持を見込んでいる。(ビール製造) ・ 新商品の販売が国内、国外とも好調に推移しており、生産が間に合わない状況にある。製造設備の増強により、今後も売上の増加が期待できる。(清酒製造) ・ 仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できないことから、業況(採算面)は厳しい状況にある。(洋菓子製造) ・ 繁忙期と閑散期の落差が大きい為、人材確保や資金繰りが困難となっている。原材料の仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できず利益確保が難しい。(加工食品製造) ・ 消費者の節約志向が続いており売上は減少傾向にある。また、魚介類などの天然資源が減少している為、原材料の仕入価格高騰により、先行きの採算は悪化することが懸念される。(魚介類瓶詰・袋詰製造) ・ 業務用製品の売上は前期並みを確保しているが、ギフト関連製品の売上が大幅に減少しているため、業況は低調に推移している。(麺・そば製造) ・ 調理パンの売上は堅調に推移しているが、米飯・菓子は売上不振が続いており、業況は総じて良くない。(菓子・米飯・調理パン製造) ・ 自家製麺を作り消費者に提供するラーメン専門店が増加しているため、売上は減少している。(業務用生ラーメン製造) ・ 足元では仕入価格が上昇傾向にあるが、販売価格への転嫁は難しい状況にある。先行きの採算面は見通しが立たず、大型の設備投資は難しい。(冷凍食品製造)
<繊維・衣服>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先が1先のみのため、年度によっては受注に波があるが、28年度は受注が途切れる事が無く順調に推移している。従業員の高齢化もあり先行きに対して不安がある。(衣料製造) ・ 消費者の購買力低下(百貨店などの売上減少)を要因に受注量が減少している。(衣料縫製)
<木材・木製品>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 円安の進展により原材料であるロシア材の仕入れコストが上昇している。コスト上昇分を販売価格にどこまで反映出来るかが現状の課題となっている。(製材業)
<家具・装備品>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新築関連の受注は減少傾向にあるが、リフォーム関連の受注が大幅に伸びており、売上は例年並みを維持している。(建具製造) ・ ここ数年、店舗の新装・改装に関する受注の減少により、売上は低調に推移している。(家具製造・取付)
<窯業・土石>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の公共事業は持ち直しの向きがみられるものの、以前として低水準である。先行きの受注見通しは厳しく、業況悪化が懸念される。(各種コンクリートブロック製造) ・ 建設業全体が公共工事の減少に伴い非常に厳しい状況である。受注量が安定せず売上の見通しが立てにくい。(生コンクリート製造)
<印刷・同関連>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備投資実施により製造工程を見直したことから、売上、採算面は改善傾向にある。(商業印刷・パッケージ印刷製造) ・ 印刷業界はデジタル化の影響を受け年々印刷物が減少している。新聞購読数の減少からチラシの印刷枚数も減少しており、業況は厳しい状況が続いている。(総合印刷業) ・ 市場全体が縮小する中で、大手企業のシェアが増加し、中小企業のシェアが減少傾向にある。今後はさらにその傾向が強くなっていくと思われる。(段ボール箱製造) ・ 競合他社との価格競争の激化により、一段と業況の悪化が見込まれる。(事務用印刷)
<金属製品>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 販路開拓に注力していた航空宇宙関連の精密部品が受注増につながっているため、足元の業績は上向いている。(金属部品加工) ・ 主要取引先である自動車関連企業の海外移転の影響により、国内における受注量の確保が困難となってきた。(自動車部品製造) ・ 多品種、少ロット受注に対応できているため、受注量は大幅な減少には至っていない。しかし、受注単価の下落から売上は減少傾向にある。(自動車部品、産業機械部品等加工)

<ul style="list-style-type: none"> 短納期、低コスト対応が常態化しており、採算面では厳しい状況にある。(各種金型製造) 28年度は特殊要因により売上が増加しているが、慢性的な受注減少により先行きの売上は減少する見通しである。(金属部品加工)
<p><はん用・生産用・業務用機械></p> <ul style="list-style-type: none"> 海外のエネルギー関連向けの受注が不振だったため、昨年の業況はやや低調であったが、米国新政権への政策期待から足元の引き合いは増加している。(各種生産用機械製造) 主要マーケットの中国を中心に受注不振が続いていたが、昨年10月以降、円安傾向を受け受注は回復基調にある。(精密部品用機械製造)
<p><電気機械></p> <ul style="list-style-type: none"> 加湿器向け部品を中心に受注が好調であるため、足元の売上は前年比20%増で推移している。(各種基板製造) スマートフォンや車載向けセンサー等の電子部品の受注が堅調に推移している。今後もこの分野の需要は高まるものと思われ、生産量の増加を見込んでいる。(プリント配線板製造)
<p><輸送用機械></p> <ul style="list-style-type: none"> 足元の業況は概ね堅調に推移している。トラック代替需要とオリンピック需要が重なり、これからの数年間(2020年迄)は受注・売上ともに増加が見込まれる。(車体製造・整備)
<p><その他製造業></p> <ul style="list-style-type: none"> 主力取引先(建設機械関連)からの受注量増加により売上は増加傾向にある。営業力強化の効果が出てきており、当社全体の受注量は堅調に推移している。(鍛工品製造) 同業他社との競争激化の中にあっても、製品の品質等を重視する取引先からの受注増加により、業況は概ね堅調に推移している。(食品用アルコール製剤製造) 海外向けの売上が好調に推移している。原材料(肉類)の仕入価格が前年度に比べて安定しているため、収益は改善傾向にある(ペットフード製造) 従業員の高齢化と外注費の増加などにより業況は厳しい状況にある。(配管工事用付属品製造) 主要取引先の設備投資の減少等により売上減少が見込まれる。ただし、採算面はコスト削減効果により前年と同水準を見込んでいる。(プラスチック製品加工)
<p>2. 建設業</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期からの繰越工事の減少で売上は減少したが、不採算工事の見直しにより採算面は改善した。(総合建設業) 公共事業の激減に伴い受注量は大幅に減少した。先行きの見通しも非常に厳しい。(土木建築) 売上は増加基調にあるが、人件費の増加や仕入価格の上昇などにより採算面は厳しい状況にある。(空調設備) 今冬から新たに凍結防止剤の散布を受注したため、安定的な売上を確保している。(一般土木工事業) 昨年夏以降、住宅着工数の増加により受注・売上は増加傾向にある。(地質調査・地盤改良工事) 受注減少から売上は減少傾向にある。さらに、人材不足や後継者の育成難などから、今後も業況悪化が見込まれる。(造園工事) 省エネ設備導入に関する補助金制度の効果などから取引先に設備投資があり、昨年後半は売上が順調に伸びた。(空調設備) 競合他社との受注競争が激化するなか、低価格受注による採算の悪化が懸念される。(電機通信工事) 公共事業予算の削減に伴う工事発注量減少により受注・売上は減少傾向にある。さらに原材料価格(油脂材料)も上昇傾向にあり、先行きも業況改善は見込めない。(道路舗装工事) 取引先の倒産や廃業などの影響から受注が減少している。そのため、先行きの業況悪化が見込まれる。(管工事) 東日本大震災の復興工事により昨年まで受注は順調に推移していたが、今年に入り復興関連の仕事も落ち着き、受注量は少しづつ減少していくものと思われる。(基礎杭工事)
<p>3. 運輸・通信業</p> <p><運輸業></p> <ul style="list-style-type: none"> 原油価格の下落により昨年11月頃までは燃料費を抑制することができたため、採算面で改善が図れた。(一般貨物自動車運送) 取扱貨物の減少に歯止めがかからず、業況の悪化が見込まれる。(海上運送) 昨年のスキーバス事故の影響が大きく集客が思うように進んでいない。バスの利用を敬遠する動きがみられるようである。(旅客自動車運送)

- ・ 原油価格高騰の兆しが出始めており、先行きは採算面の悪化や資金繰り難が見込まれる。(食料品輸送)
- ・ 人手不足・高齢化により生産性が低下している。人手が集まらない状況から将来の担い手、後継者難が見込まれる。(一般貨物自動車運送)
- ・ 新たな事業の取り組みとして、再生資源工場を開設し、産廃セメント原料の再資源化に取り組んでおり、既存事業の業績改善に寄与している。(貨物運送業)
- ・ 利用客数の減少、競合他社との競争の激化等により売上は減少している。(個人タクシー)
- ・ 受注は減少傾向にあるが、運賃単価の値上げ等で売上を確保している状況にある。業界動向としては乗務員不足、燃料価格の高騰などで先行きは業況悪化が見込まれる。(一般貨物自動車運送)

<情報通信業>

- ・ 同業他社への技術指導という新たなサービスの開始に伴い、足元の業況は堅調に推移している。(ソフトウェア開発)
- ・ 主に首都圏の大手企業からの受託が売上の大半を占めているため、大手企業の需要動向に左右される。安定した売上維持が難しい。(ソフトウェア受託開発)
- ・ クラウドサービス価格の下落による受注額減少を理由に、先行きは採算面の悪化が見込まれる。(情報システム開発)
- ・ 慢性的な人材不足を解消するため積極的に求人活動を行っているが応募がなく、業務に支障が生じている。(ソフトウェア開発)
- ・ クラウドやI o T関連の受注が増加しており、業況は堅調に推移している。(Web制作)
- ・ 競合他社に先駆けて導入した技術により、優位に受注できる環境が整ったことから、先行きは受注増加が見込まれる。(ソフトウェア開発)

4. 卸・小売業

<卸売業>

- ・ 既存取引先向けの売上は減少したものの、営業活動に注力した結果、新規取引先の獲得に結び付いたため、当社全体の売上は若干の増加となっている。(酒類卸)
- ・ 営業活動を強化・推進したことから新規取引先の増加につながり、売上は増加傾向で推移している。(食品卸)
- ・ 中小企業向けの売上は低調に推移したが、設備投資に積極的な大手企業向けに拡販できたため、売上増加を図ることができた。(機械器具・工具卸)
- ・ 天候不順や自然災害等の発生により商品の仕入価格が高騰したため、採算面は厳しい状況にある。(野菜・果物卸)
- ・ 食品業界で異物混入を排除したい意向が強まる中、破損・劣化しやすいプラスチック製品から金属製品へシフトしたいとのニーズを取り込み、売上は増加している。(業務用厨房機器卸)
- ・ 原油価格の値上りや不安定な為替要因などから、コストアップに繋がる可能性が大きい。製品価格への転嫁は難しく採算面での悪化が懸念される。(包装資材卸)
- ・ 部品事業の拡大により昨年8月まで売上は増加基調にあったが、先行きは価格競争の激化により業況悪化が懸念される。(自動車関連部品卸)
- ・ 新潟県内のステンレス建具の受注・売上は概ね横ばい傾向にあるが、東京、大阪など首都圏では好調に推移している。(自動ドア製造卸)

<小売業>

- ・ 自動車販売では登録車は新車効果などにより改善がみられるが、軽自動車は燃費不正問題が影響し苦戦が続いている。(自動車販売)
- ・ ゲームソフトの販売不振とインターネットショップとの競合激化により業況は低調に推移している。トレーディングカードの売上は6、7年前のピークを最後に徐々に減少している。(ゲーム・カード類販売)
- ・ ギフト業界では、中元・歳暮需要の縮小から厳しい業況が続いている。(贈答品販売)
- ・ 自動車の燃費向上により売上は減少傾向にある。業界的には薄利多売のビジネスモデルからの転換が難しく、業況悪化が続くと思われる。(ガソリンスタンド)
- ・ 需要減少の影響から今後も業況の改善は見通しにくい。(生花販売)
- ・ 慢性的な人材不足の状況にある。パートやアルバイトの採用に向けて求人活動を行うが採用には至らない。(コンビニエンスストア)
- ・ 売上増加を図るべく営業・販売担当者の増員を検討しているが、募集しても人材を確保出来ない。(寝具販売)
- ・ 足元の売上は横ばい傾向にあるが、同業他社の出店増加により、先行きは業況悪化が見込まれる。(ドラッグストア)
- ・ 同業他社との競合に加え、新規参入者の増加により需要の奪い合いが生じている。業況の先行き見通しは厳しい。(乳製品販売)

5. 飲食・宿泊業**<飲食業>**

- ・売上は増加傾向にあるが、人材派遣会社を通じて人手を確保しているため人件費が増加している。採算面は厳しい状況にある。(割烹・仕出し)
- ・仕入価格の上昇を受け、昨年8月にメニューの値上げを実施した。ただし、客数の落ち込みはわずかであり、売上は概ね安定している。(洋風レストラン)
- ・売上は増加したものの、仕入価格の上昇や人件費増加などから採算面は悪化傾向にある(定食屋)
- ・昨年11月以降、売上は低調に推移している。消費者が外食を控えるなど、財布のヒモがかたくなった印象を受ける。(中華料理店)
- ・人手不足によりサービスの質を維持できないため、店を1店舗閉店した。(鮨・和食)
- ・来店客数の減少、客単価の下落など足元の業況は厳しい状況にある。今後もこの状況が続くのではないかと懸念している。(手打ちうどん店)
- ・今年の夏以降、アルバイトの応募がほとんどない状況が続いている。昨前より時給を100円アップしたが効果はみられず人手不足の状況が続いている。(居酒屋)
- ・来店客数は大きく減少していないが、客単価が下落している。食材(生鮮)価格が上昇傾向にあるため、業積は非常に厳しい。(回転寿司)

<宿泊業>

- ・中国人観光客は減少しているが、新潟空港における韓国便の離発着時間変更により、韓国人団体客が増加している。(旅館)
- ・団体旅行客の減少や客単価の下落、人手不足などを背景に足元の業況は厳しい状況にある。(旅館)

6. サービス業

- ・空きテナントが埋まらず昨年秋頃までは売上は低迷していたが、入居先が決まり今期は業況が改善する見込みである。(不動産賃貸業)
- ・老朽化した建物の解体案件を多く受注できているため、売上は増加傾向にある。(産業廃棄物処理業)
- ・首都圏の再開発や2020年の東京オリンピック・パラリンピック需要により、受注増加が見込まれる。(商業デザイン設計)
- ・消費者のニーズを汲み取り、小規模葬儀用に対応した施設を整備したことから、受注件数は増加傾向にある。(葬祭業)
- ・官公庁発注の公共投資が減少していることから、業況は当面低調な状態が続くものと思われる。(測量・土木設計)
- ・主要顧客は高齢者がほとんどであり、来店頻度も月1回から3ヶ月に1回と伸びる傾向にあるため売上は減少している。(理容店)
- ・高齢化が進むにつれて練習頻度が少なくなっていることと、若年層の顧客が減少していることから売上は低調にある。(ゴルフ練習場)
- ・人手不足の解消に向けてハローワークや求人情報誌等で募集しているが集まらない。低賃金が要因と思われるが、売上が上昇しない現状では賃金アップは困難な状況にある。(警備業)
- ・金利低下に伴う同業他社との競合激化及び利鞘の減少などにより業況は厳しい状況にある。(リース業)
- ・類似施設の増加による競争の激化、人口減少等により先行きの業況悪化が見込まれる。(公衆浴場)
- ・車検整備に関する売上は顧客が格安店に流れているためか年々減少してきている。車検以外の一般修理の売上も減少しており、業況は厳しい状況にある。(車輛修理・メンテナンス)
- ・最低賃金の上昇や社会保険適用拡大に伴い人件費は増加している。パートタイマー等の採用難もあり、雇用状況は厳しさを増している。(ビルメンテナンス業)

平成28年度下期 新潟市景況調査【概要版】
(平成28年7月～平成28年12月期)

発行 平成29年3月
新潟市経済部産業政策課
新潟市中央区学校町通一番町602番地 1
電話 025-226-1610 (直通)